

第17回

青葉城
記念

がん哲学外来

メディカルカフェin仙台

…がん哲学外来とは…

がんと告知されてから、あなたが考える「悩み・不安・思い・願望」などを直に書いて「解消できる道」を一緒に探し「医療の隙間」を埋める活動です。がんを患うご本人だけでなく、支えられている家族の方々、ご遺族、医療従事者、市民などお互いの立場を越えて、共に寄り添い自由に語り合います。お気軽にお立ち寄りください。

定員

20名

開催日

2019年11月9日(土)

13:00~15:00(受付開始12:30~)

12:30

受付

13:00

開会

講演

円通山普門寺 副住職：高橋悦堂氏による講演

心に寄り添うとは

・・・質疑応答時間・・・

14:00

カフェタイム

※グループに分かれての談話
ホッと一息つきませんか?

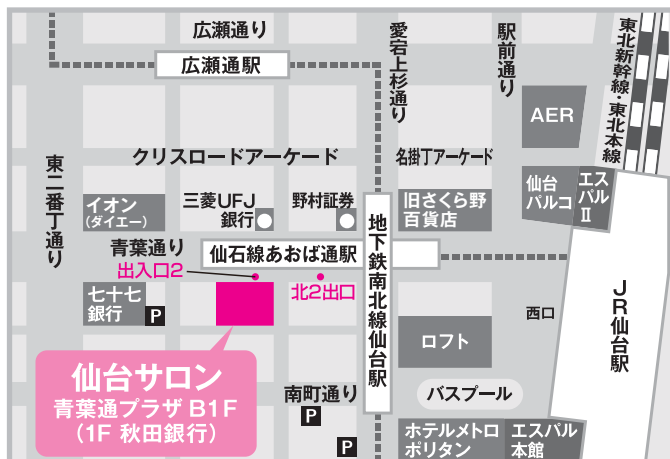
15:00

閉会



たかはし えつどう
高橋悦堂氏

円通山普門寺 副住職



会場：スヴェンソン 仙台サロン

宮城県仙台市青葉区中央3-2-1
青葉通プラザB1F

TEL.022-212-4101
FAX.022-225-0061

平日/10:00~19:00
土日祝/10:00~18:30(火曜定休)

お問い合わせ・ご予約は裏面をご覧ください。

後援：一般社団法人がん哲学外来

心に寄り添うとは

たかはし えつどう
講師 高橋 悦堂 氏

会費
無料

《経歴》昭和54年(1979年)宮城県栗原市一迫生まれ。・曹洞宗大本山総持寺安居・駒澤大学 仏教学部 禅学科 修了・曹洞宗総合研究センター教化研修部門 研修課程 修了・駒澤大学大学院 人文科学研究科 仏教学専攻 中退 平成22年(2010年)普門寺住職高橋悦宗の法を嗣ぎ、同寺副住職となる。

《活動、略歴》東日本大震災後に僧侶として、地元栗原火葬場での読経供養や被災三県の避難所・仮設住宅などでの傾聴支援活動に参加。その活動のおり、宮城県の在宅緩和ケア医、岡部健氏と出会う。がんを患う自分の最期を看取るようにと告げられ、ご家族とともに最期の日々に寄りそう。その後、岡部医師の遺志を継いで始まった東北大学での臨床宗教師研修に参加。臨床宗教師として岡部医院を中心に活動してきた。このような体験と学びを活かし、副住職としての務めやまた医療・介護、被災地、地域福祉等の多職種連携の現場において活動している。またこれらの経験をもとに、各地で講演や講話、研修などを行っている。

お申し込み方法

下記、参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはお電話にてお申し込みください。お電話にて確認のご連絡をさせていただきます。

フリガナ	
お名前	
ご職業	
ご住所	〒
電話番号	(緊急な変更があった場合など、 当日連絡がつきやすい番号) 電話番号 ()
	FAX番号 ()
お知りになった きっかけ	(このお知らせを何でお知りになりましたか?)
今後のご案内 希望の有無	(今後の催しについてのご案内を希望されますか? <input type="checkbox"/> に✓点を入れてください) <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

※この情報は、今回のご連絡ならびに次回以降のご案内以外には使用いたしません。

お申し込み FAX番号

022-225-0061

 SVENSON スヴェンソン 仙台サロン

[定休日：火曜日]

宮城県仙台市青葉区中央3-2-1青葉通プラザB1F

TEL.022-212-4101